

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

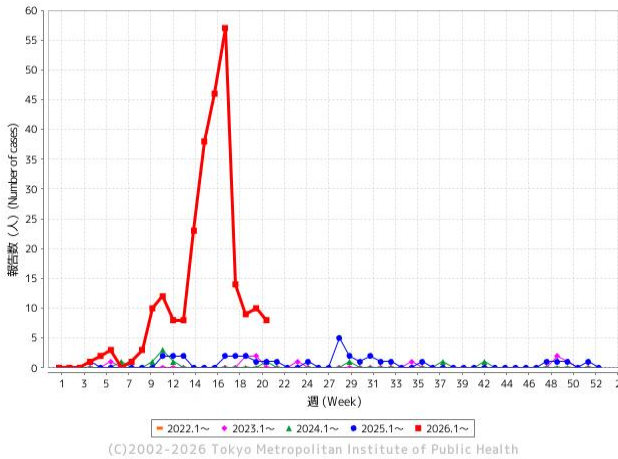
令和8年
6月号



東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「麻しんの流行状況（東京都 2026年）」
「感染症ひとくち情報」

麻しんの最新情報 第21週（～5月24日）までの受理週別報告数推移



近年、東京都の麻しんは**2019年に大きな流行**があり124人の報告がありました。昨年はそれに次ぐ34人でしたが、今年**5月24日時点で253人の報告**があります。

都内では患者数は減少しているものの、毎週患者の報告があり、引き続き注意が必要です。

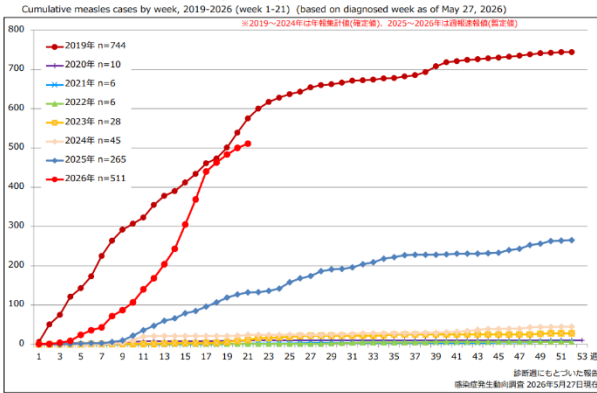
MR（麻しん・風しん）ワクチンの定期接種を受けているか確認しましょう。
また、麻疹を疑って受診する際は、医療機関に電話連絡の上、公共交通機関を利用せず受診をお願いします。

日本国内の感染症流行情報

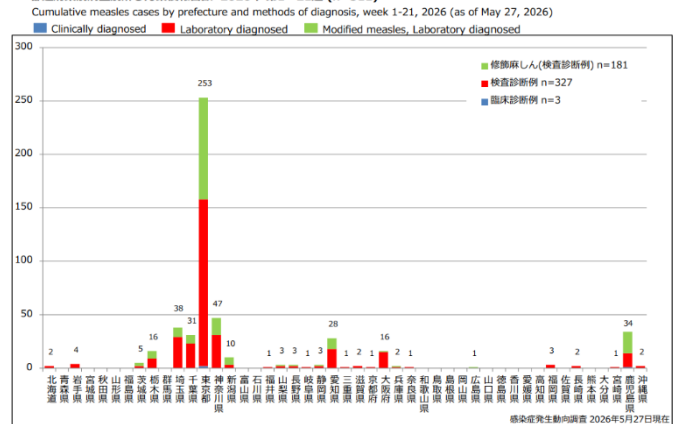
出典：国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト

麻しんの最新情報 第21週（～5月24日）までの累積報告数の推移

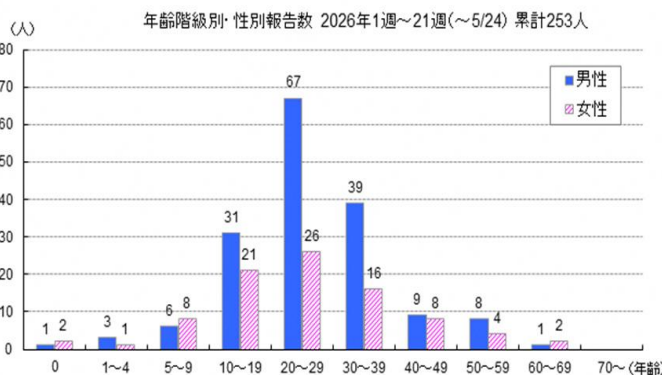
1. 麻しん累積報告数の推移 2019～2026年（第1～21週）



2. 都道府県別麻しん累積報告数 2026年 第1～21週 (n=511)



麻しんの最新情報 第21週（～5月24日）までの年齢群別累積報告数割合



患者の年齢層は20代および30代が多く、学校や職場での集団感染も発生しています。

墨田区HP
「麻しんについて」



墨田区HP
「子どものMRワクチンについて」



手足口病に注意しましょう

出典：東京都健康安全研究センター・厚生労働省

手足口病は、エンテロウイルス属のウイルスによって引き起こされる感染症で、5歳以下の乳幼児を中心に夏に流行する感染症です。

主な症状

口の中、手のひら、足の裏などにできる2~3mmの水疱を伴う複数の発疹で、3~7日程度で消失します。その他には発熱、食欲不振、のどの痛みなどの症状がみられます。

感染経路

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。



治療と予防



特別な治療方法やワクチンはありません。感染予防には、流水と石けんでのごまめな手洗いが有効で、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には手洗いを心掛け、タオルの共有は避けましょう。また、咳エチケットを心掛けましょう。



HIV・梅毒の即日検査を実施します

出典：東京都感染症情報センター



HIVの新規報告例は、世界では減少傾向ですが、日本では横ばい~増減を繰り返しています。早期に診断を受けて治療を開始することで、発症を防ぐことが可能です。

梅毒の発生は2021年以降急増しており、年間10,000例を超えています。男性は20代~50代、女性は20代が突出して増加しています。

梅毒は早期に治療をすれば治すことができます。

6月26日(金)すみだ産業会館で、HIVと梅毒の即日検査（血液検査）を実施します。この機会に検査を受けてみてください。詳細は区のホームページをご確認ください。

HIV・梅毒 即日検査
すみだ@あんしん検査
2026年6月26日(金)
16:00~19:30
■先着60人 事前予約制
■匿名・無料で受けられます

【対象】 感染の疑いのある日から90日以上経過している方
【会場】 すみだ産業会館 (江東区3-9-10 墨田区 丸井共同ビル7Fの階)
お申し込みはこちら
すみだ@あんしん検査

【問い合わせ】
墨田区保健所保健予防課
03-5608-6191
9:00~17:00(土日祝も受付)



墨田区HP「HIV・梅毒 即日検査」

墨田区HP「梅毒について」



ひきふね図書館でAMR（薬剤耐性）の展示をしています

出典：AMRリファレンスセンター

6月19日~7月15日までひきふね図書館のプロジェクトコーナーにて展示を行っています。



知ろう まもろう 抗菌薬

なぜに抗菌薬は効きません

抗菌薬の不適切な使用は薬剤耐性菌の増加につながります。薬剤耐性菌による感染症は治療が難しくなるので、増やさないための対策が必要です。

AMR臨床リファレンスセンター

